



▲水産庁長官賞を受賞した平良穂乃花さん(写真中央) ※2・3ページに関連記事

平良 穂乃花さん(嘉芸小学校6年生)

# 水産庁長官賞受賞



▲賞状を手に嬉しそうな穂乃花さん

ではいけないという看板が立っています。きれいな海に見えるのに、泳げないのは残念です。恩納村はハブクラゲの対さくをし

心して泳げるような海にしてほしいと思

私に住む金武町には、海面養しよく場



▲受賞作品を読み上げる穂乃花さん

第32回 全国豊かな海づくり大会作文コンクール

11月17日、18日に糸満市を主会場に開催された「第32回全国豊かな海づくり大会」の作文コンクールで、嘉芸小学校5年生の平良ほの穂乃か花さんが、水産庁長官賞を受賞しました。

豊かな海への感謝

嘉芸小学校5年 平良穂乃花

海は、きれいだな。太陽が光って、波がきらきら光っているから。5年生になって、学校の屋上に登った時の事です。目の前に海が広がり、平安座島や宮城島、勝連半島が見えてきました。

# 町内から4人が表彰 第4回 箏曲こども奨励賞

9月10日、那覇市泉崎の琉球新報ホールで「第12回箏（くとう）の日 - 箏美（くとうぢゆ）らさ御万人（うまんちゆ）と」が行われました。  
同イベントでは、「第4回箏曲こども奨励賞」の各賞に入賞した子どもたちへの表彰も行われ、町内から金賞3人、銀賞1人の計4人が表彰されました。  
これからも各方面で活躍する児童・生徒を応援しましょう！



- ボランティアしていただいたみなさん
- 嘉数 瑛利弥 (前・金武中学校特別支援員)
- 石川 真吾 (平成23年度卒業生)
- 上江洲 優奈 (平成23年度卒業生)
- 崎 濱 葵 (平成23年度卒業生)
- 佐藤 樹音 (平成23年度卒業生)
- 渡慶次 令奈 (平成23年度卒業生)
- 仲間 文香 (平成23年度卒業生)
- 山内 彩梨沙 (平成23年度卒業生)
- 金城 リリカ (金武中学校美術部)
- 前田 鈴佳 (金武中学校美術部)
- 与那嶺 舞奈 (金武中学校美術部)
- 石川 望隠 (金武中学校美術部)
- 田中 浩美 (金武中学校美術科教諭)
- 大城里衣 (金武小学校教諭)
- 神谷 至郎

**元金武中学校美術部のみなさん**

このたび、元・金武中学校美術部のみなさんに、金武幼稚園と小学校境界の壁面に、ボランティアで絵を描いていただきました。

絵を描いていただいたみなさんは、忙しい合間を縫って、時間の都合のつく休日に金武幼稚園を訪れ、絵本『はらぺこあおむし』の絵を丁寧に仕上げてくださいました。

同幼稚園の知花こずえ教諭は「素敵な絵を描いてくれて、とても感謝している。園が明るくなった。子ども達もとても喜んでいいる」と感謝を述べています。

美術部のみなさん、本当にありがとうございました！

# 沖縄県広域地震・津波避難訓練 県下一斉訓練に町立各学校も参加



11月5日に、平成24年度沖縄県広域地震・津波避難訓練が実施されました。同訓練は、自治体や学校、事業者、各個人等が参加して沖縄県下一斉に実施されました。

訓練は、午後2時に強い地震（金武町では震度5強を想定）が発生し、午後2時3分に大津波警報が発令、34分後には高さ3メートルの津波が金武町沿岸に到達し、海拔5メートルまで遡上するものと想定して行われました。

金武町では比較的高台にある中川区・並里区・金武区（福花原・渡慶頭原等の沿岸地域を除く）

が発生し、午後2時3分に大津波警報が発令、34分後には高さ3メートルの津波が金武町沿岸に到達し、海拔5メートルまで遡上するものと想定して行われました。

金武町では比較的高台にある中川区・並里区・金武区（福花原・渡慶頭原等の沿岸地域を除く）

く）では、地震のみを想定した訓練でしたが、伊芸・屋嘉地区では、津波を想定した訓練が実施されました。

嘉芸小学校では、地震発生を知らせる「ゴーツ」という放送が流れると、児童は机等に身を隠し、すぐに校庭に避難しました。大津波警報が発表されると、一斉に避難場所のレンジ6ゲート前を目指して避難を開始しました。児童は避難場所までの約1.3キロの道のりを実際の災害時同様に駆け上がり、地震発生から34分後という避難目標時間を上回る、避難開始から15分後の午後2時17分に全員の避難が完了しました。

災害から命を守るために、日頃から災害に備え、実際の災害時に慌てずに行動できるようにしましょう。

なお、同訓練に際しては、石川署、PTAの皆様のご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

# ボート県高校新人大会で前田彩花さんが優勝

10月21日に大宜見村で行われたボートの県高校新人大会で、女子シングルスカルに出場した、辺土名高校2年で屋嘉区出身の前田彩花さんが、初優勝しました。

前田さんはこれまで組んでいた3年生が引退したため、これまでのダブルスカルからシングルスカルに転向し、初めての大会での優勝となりました。

前田さんは「高校生活最後にふさわしい成績をめざして頑張ります！」と今後の目標を語りました。





嘉芸小学校



中川小学校



金武小学校

# エイサーのご指導ありがとうございます!

## 運動会に地域の伝統エイサーを!

運動会に向けて、1学期最終週から、エイサーの練習が始まりました。今年から地域エイサーを演目に入れ、屋嘉・伊芸両区のエイサーを子ども達が演じることになりました。それについては、両区の区長のご理解とご協力をいただき、4・5・6年生のエイサーの練習を地域の方にご指導いただきました。

夏休み中も、エイサーのリーダーとなる6年生に週2回、エイサーを指導してもらいました。子ども達も大変頑張ってくれました。ご指導いただいた屋嘉区長、伊芸区公民館主事の平良匠様、暑い中のご指導大変ありがとうございます。



# 海外ホームステイプログラム感想

平成24年度海外ホームステイプログラム(7月23日~8月21日)に参加したみなさんの感想文(一部抜粋)を掲載いたします。



▲上間千春野さんの写真より

## ホームステイに参加して

金武中学校三年 仲間 美鈴  
(ホームステイ先 ワシントン州オリンピア)

私は、今回のホームステイで海外に出るのが初めてでした。海外に行くと、現地で友達を沢山作って、沢山遊びたいな。と理想がありました。しかし、アメリカに行くのに、自分の英語の実力もなくて、出発の日が近づくと、「楽しみ」というよりも、「不安」のほうが徐々に大きくなっていきました。

現地に着くとホストファミリーの人たちは、私を笑顔でおかえに来てくれました。四人家族で、父、母、十二才の女の子、五才の男の子でした。ホストファミリーの家族は、会って早々、握手やハグなど、私を家族の一人としてすぐに受け入れてくれました。

ホームステイでは、平日の午前中は英語クラスで、日本から来たホームステイメンバーと一緒に英語の勉強をしました。土日は、学校もなく、一日中ホストファミリーと一緒に、ショッピングに行ったり、海に行ったりと楽しい休日を過ごせました。しかし、言葉が通じない事が時々あったので、きまづくなったりして、もっとちゃんと英語を勉強しておけばよかったなと思うばかりでした。

このホームステイに参加すると同時に、沢山の人の力を借り、沢山の人の出会えました。ホストファミリーの家族の皆やアメリカで出来た友達、日本から来たホームステイメンバーや付き添いの先生方、みんな良い人で、不安だったアメリカでの生活も楽しい日々となりました。アメリカでの辛い思い出も、良い思い出も、悔しい思い出も私にとってとても良い経験となりました。

この貴重な経験をこれから日々の生活に役立てたいです。アメリカ最高！ステキな一ヶ月間をありがとうございました。



## 憧れだったホームステイ

金武中学校三年 仲間 樹菜  
(ホームステイ先 ワシントン州オリンピア)

私は今年の夏、去年からずっと憧れていたホームステイをしました。前年から私のホストファミリーはとても優しく、オリンピアに行く前から私にメールを送ってきてくれたり、沖縄に着いた今でもメールを送っています。

しかし、そんな楽しい家庭でも英語だけを話すのは辛く、最初の一週間の休日は苦痛でした。英語しか話せないし、日本語を話しても通じないその世界に心が折れそうでした。それでも、そういう環境にもやっぱり慣れるらしく、二週間目からはそんな生活が普通になってきていました。休日にはスーパーに行ったり、ショッピングをしたり、山に行ったりしました。また、私の誕生日には、ワイルドウエーブというプールやウォーターライダー、ジェットコースターまであるところに行き、みんなで遊びました。私の誕生日だからということ、夕食は好物のカレーとケーキでした。誕生日プレゼントとバスカードももらい、今までで一番最高の誕生日でした。

アメリカへ行ったことは、英語を勉強し、友達もたくさんつくれた、本当に良い経験をしたと思います。私たちグループの女子は、いくつかまたオリンピアに行き、それぞれの家族に必ず会いに行きます。それまでもっと英語を上達させるため、勉強します。ホームステイは、最高の夏をつくってくれました。もう一回行きたいです！

## ホームステイプログラムに参加して

金武中学校三年 仲間 文音  
(ホームステイ先 ワシントン州オリンピア)

七月二十三日、とうとうアメリカに出発の日が来た時は、心臓がバクバクして苦しかったのを覚えています。

私がステイした、ジエイムファミリーは、とても優しい家族でした。日がたつにつれ、家族にも環境にもなれてきたら、いろんな所に連れて行ってもらいました。プールや動物園、フリーマーケットなど、色々な所で遊びました。また、グループでも仲良くなってくると、ホームステイというグループを結成したり、とてもよい日常を過ごすことができました。

二週間ほどたつてくると、もうそろそろ帰るんだな...と考えるようになってきて、さびしくなる時もありました。あと一週間あるかないかのうちに、もっと思い出を作ろうと考えるようになってからは、積極的に話しかけて、前以上に会話を増やすようになりました。家族と話をしている間もずっと、今度はいつ会えるんだろうと考える、いつかさびしくなるようになりました。

帰る当日、ホストファミリーとハグをして泣きました。「いつでもおいで。」とはあなたのお家なんだから」と言ってくれました。

アメリカに行った一ヶ月間、家族と離れて暮らすとわかることがいっぱいありました。うさぎと親と想っていた自分だけ、しかしかっくられる人もいないとさびしくなると感じたり、ありがたい気持ち、さびしく自分の家族が一番とさびしくなりました。

# 高齢者学級講座報告【カー・拝所巡り】

平成24年5月から7月にかけて、中央公民館と文化財・町史編さん担当共催で毎年恒例の高齢者学級講座を開催しました。

今年のテーマは「カー・拝所巡り」ということで、中央公民館館長を中心に、地域のカーと拝所を参加者とともにまわりました。今年の参加者は、第1回【於：金武区】が12名、第2回【於：並里区】が11名、第3回【於：屋嘉区】が10名、第4回【於：伊芸区】が13名と、時には生い茂る草を分け入る元気な先輩方々でした。

『沖縄民俗辞典』によるとカーとは井戸や泉のことで、金武町内には多くのカーが点在します。水道が敷かれる以前、人々はカーから得られる水を頼って生活しなければなりません。当時の人々にとって、カーは生活の支えとなるもので、そういった中からカー



第1回(5/14)講座 アナガーにて

拝みという民俗行事も生まれてきたのではないのでしょうか。今回の講座では、カー拝みでまわると言われる場所を主に巡見しました。参加者からは、「実際に行くことでとても勉強になった。」「大変いい企画だと思いました。」との声が聞かれました。

最後に、「カー・拝所巡り」を企画準備するにあたり、調査にご協力いただいた皆様にはこの場をかりてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

**（金武中学校1年）**  
**仲間 彩梨さんが**  
**走幅跳で優勝！**

**ジュニアオリンピック**  
**陸上競技大会へ派遣**

9月2日、県総合運動公園陸上競技場で行われた、第43回全沖縄ジュニア選手権大会兼ジュニアオリンピック陸上競技大会予選で、金武中学校の仲間彩梨さん（1年）が、少年C（1年女子）走幅跳競技に出場し、4メートル76センチで優勝の栄冠に輝きました。

仲間さんは、10月26日から神奈川県の日産スタジアムで開催された、第43回ジュニアオリンピック

結果は29位でしたが、全国の強豪が集まる大会で堂々と競技に臨みました。全国大会に参加するにつれて自信になり、人間的な成長が育まれたことと思います。仲間さんの今後の活躍に期待します。



## ホームステイに参加して

金武中学校三年 池原 侑  
（ホームステイ先 ワシントン州 オリンピア）

私は、一カ月もアメリカにいられるなんて最高！、ドキドキするなあと思っていました。しかし、その反面、一カ月も家族にあえなくて大丈夫かなあと不安もありました。私のホストファミリーは、父親と私と同じ年くらいの子ともが二人でした。ホストファミリーは、スペインからもホームステイを受け入れていて、とてもにぎやかでした。また、スペインの人がめづるじやべりかけて来てくれて、とても聴きやすく安心しました。

私が、アメリカにいて一番困ったことは、自分の意思をちゃんと伝える事です。日本人は、人に気がつかないすぎて意思をちゃんと伝える習慣がありません。最初は「はい」「いいえ」をはっきりと言わないので、最初は「すつ」と悩んでいて、返事が遅れた事です。また、英語が上手にしゃべれず、何がしたいとかが上手に伝えられなくて大変でした。

そして、アメリカにいて一番楽しかった事は、やっぱり買い物です。今は、田舎でもとても安く家族や友達、そして自分の分もいっぱい買物が出来たので良かったです。

最後に、アメリカで一カ月ホームステイして学んだ事は、日本人は間違いを恐れて、アメリカ人と会話を自分からしようと思わずに、相手が話してくれるのを待っているだけなので、あまり英語が上達しない事がわかりました。「聞かぬは一生の恥」という言葉があるように、やはり間違っても自分から積極的に会話をすることが大切だと感じました。

それと、英語は単語の意味が分からないと会話が成り立たないので、私はこれから将来の夢に向かって、まずは単語を覚えていきます。このプログラムに参加出来るチャンスを与えてくれた家族や金武町教育委員会をはじめとした方々に感謝します。



## I had a good time

金武中学校三年 仲間 千春野  
（ホームステイ先 ワシントン州 シアトル）

私は将来、英語を使って仕事をすることが夢です。そこで英語を少しでも身につけたい、そして、アメリカの文化、暮らしを体験してみたいと思い、このプログラムに参加しました。

日本を出発する前はいろんなことを想像してわくわくしていました。出発直前に、なるかアメリカの環境に慣れるだろうか？と不安の方が大きくなっていました。

アメリカでは、「これこそアメリカカー」と感じるものが沢山あり、例えば車が左ハンドルなので車に乗るときは、一瞬考えてから乗っていました。その他に、日本では想像も出来ない程の大規模農場や、安い値段でボリュームたっぷりのファーストフードがありました。それなのに、朝食や昼食は量が少なくて驚きました。そのような日本との文化の違いについて最初は不思議に思っていました。徐々にこれがアメリカと理解することができました。また、アメリカは、ディーファーストで男性は女性に対して小さな気がつかないでいました。仕事でもアメリカ人は楽しんでストレスを溜めないようにしているように感じました。逆にアメリカにいて日本の良い点も見えてきました。

帰国する日が近づいて、ホストファミリーの子ともたちが「あなたは来年も来てくれるの？」「あなたにすつ」といって話したいと言われたときは、胸が痛むと同時に、私をこんなにも歓迎してくれたことに感謝の気持ちがいっぱいでした。その時、この家族の家にホームステイをさせてもらって本当に感謝しました。

私は、アメリカの魅力に引き込まれ、もっと英語を勉強して喋れるようになりたいという気持ちが強くなりました。私にはまた新たに夢ができました。それは、第二の家族にもう一度会いたいことです。

私に素晴らしい体験をさせてくれた金武町教育委員会の皆さん、本当にありがとうございました。



写真提供：仲間 光昭 様

# 金武中学校野球部が優勝!

## ちゅらさん運動軟式野球大会

去った10月20日に、恩納村赤間野球場で開催された第5回石川地区ちゅらさん運動中学校軟式野球大会（主催：石川地区安全なまちづくり推進協議会）で、金武中学校野球部が優勝しました。

石川警察署管内（うるま市石川・金武町・恩納村・宜野座村）の中学校で行われた同大会は、金武中学校と石川中学校の決勝戦となりましたが、7対2で金武中学校が勝利し、優勝の栄冠に輝きました。

### \*\*\*編集後記\*\*\*

近頃の児童・生徒の活躍には本当に感心させられます。様々な大会やコンクールで優秀な成績を残しています。大人になると「近頃の〇〇は・・・」とか「昔は〇〇だった」なんて言いたくもなりますが、いやいや、今の子ども達はとても頑張っておりですよ。しかしながら大人も負けてはいられません。昔、コマースヤルでこんな歌がありました。「中年よ大志を抱け 若者になんか負けるな そしたら若者は中年に 負けたくなんかないと思うから」このような「大人の元氣」が憧れや切磋琢磨に繋がり、社会に活力を与え、子ども達も将来への希望が持てるのだと思います。魅力ある大人になって、子ども達に「大人はこんなに楽しいぜ」と自慢したいものです。

しかし、私の度を過ぎた「大志」を語ると子どもに言われるかもしれません。

「大人になれよ・・・」